

# 龍谷の教育

No.144

2017.Autumn



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



応援合戦  
みんな  
カッコイイ！





教頭 古賀昭雄

## 自立せよ18歳

平成27年6月、改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。そして平成28年6月19日に施行となりました。選挙年齢が18歳以上に引き下げるられて、「自立せよ18歳」という言葉や記事が取り上げられるようになります。

自立とは「他の従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けて存在すること。」(『大辞泉』)とあります。

社会人として働き始めた時が自立するための第一歩なのでしょうか。一人暮らしを始める時が第一歩なのでしょうか。

自立を経済的なもので捉えると、高校生や大学生での自立は難しくなります。18歳での自立に関しては色々考えがありますが、高校生である皆さんには今、自立に向かつて学んでいることは間違ひありません。

自分の周りの出来事を自分のことと



毎日を無駄に過ごすのではなく、様々な事に一生懸命に取り組んでください。そして、社会の形成者としての資質や教養を身につけていくください。

自立せよ18歳！

自立せよ龍高生！

日本ボランティア活動は仏教精神が原点だと思います。奈良に光明皇后の発願による法華寺があります。皇后は仏教を厚く信仰し、施薬院を設けたり、悲田院を置くなどして、社会事業、福祉事業も手がけた、ボランティア活動を行った女性としても有名です。法華寺境内に残る「から風呂」はその一つの現われといえます。「から風呂」は、今でいう蒸し風呂のことで、屋外の釜で薬草の湯を沸かし、室内にその湯気を送り込んで利用したものです。その「から風呂」に伝わる

の考え方を構築する力。自分の考えをきちんと主張し説明する力。自分がやりたいことを自分で見つけ、自分で進んで行動していく自己実現力などを身に付けていかなければなりません。

先日の龍高祭では、準備や練習の中で意見の衝突や反発、助け合いや協力があり、一つの事を作り上げることの難しさ、協力してやり遂げることの素晴らしさを経験しました。

学びの場は、部活動や生徒会活動、ボランティア活動など、学校や地域社会、家庭におけるあらゆる日常生活の中にあります。

大人も子供も、時には家族みんなで、何とか役に立ちたいと活動されている方々も、多く見られるようになりました。

日本人のボランティア活動は仏教精神が原点だと思います。奈良に光明皇后の発願による法華寺があります。皇后は仏教を厚く信仰し、施薬院を設けたり、悲田院を置くなどして、社会事業、福祉事業も手がけた、ボランティア活動を行った女性としても有名です。法華寺境内に残る「から風呂」はその一つの現われといえます。「から風呂」は、今でいう蒸し風呂のことです。屋外の釜で薬草の湯を沸かし、室内にその湯気を送り込んで利用したものです。その「から風呂」に伝わる

の考え方を構築する力。自分の考えをきちんと主張し説明する力。自分がやりたいことを自分で見つけ、自分で進んで行動していく自己実現力などを身に付けていかなければなりません。

世界で生じている地震や、災害救助や食糧にはあまり関心を持たなかつた人が、「阪神・淡路大震災が、今まで分を変えた」と言つていました。確かに私にも震災と言えば、この震災を一番はじめに思い出します。それまではボランティアという言葉は知つていても、ほとんどの人が実際活動を行うまではいかなかつたと思います。しかしこれをきっかけに、最近では多くの方が、震災が起こればボランティアとして駆けつけるようになりました。

大人も子供も、時には家族みんなで、何とか役に立ちたいと活動している方々も、多く見られるようになりました。病人の身体はみるみるうちに美しくなり、たちまち、大光明を放つて昇天しました。病人は実は、阿शゅく如来の化身だつたといいます。皇后は大喜びでその地に阿しゅく寺（後の法華寺）を建てました」というお話を建てる

次のような話が法華寺に残されていました。「皇后は、千人の垢（あか）を流して功德を積もうという悲願をたて、九百九十九人まで終えましたが、そこで迎えたのは全身かさぶたで被われた病人でした。さすがの皇后もこれにはいささかためらいましたが、悲願達成のためにと、その病人の申し出どおり膿（うみ）を吸い取りました。すると、病人の身体はみるみるうちに美しくなり、たちまち、大光明を放つて昇天しました。病人は実は、阿しゅく如来の化身だつたといいます。皇后は大喜びでその地に阿しゅく寺（後の法華寺）を建てました」というお話を建てる

## 同朋

ボランティアとは何かとあら

ためて考えますと、その定義は難しいと思います。しかし、私は何といつても、ボランティアには自由な意志にもとづく活動、つまり自発性が重要な要素であると思っています。その自由な意志で他人の困難に対し援助を行うことがボランティアではないでしょうか。そこが仏教精神にもつながるところではないでしょうか。

（文責 加々良）

## 龍谷アドバンスト!!

日本最大の学園である龍谷総合学園。日本全国にある龍谷総合学園に加盟する高校生の代表が京都龍谷大学に集まって研修をする龍谷アドバンストに今年も文理進学コース3年生の山口紗希さん（思斎館中）、草場梨帆子さん（巖木中）、宮崎彩華さん（三日月中）のグループが選ばれ参加してきました。課題の中から「宗教」を選び、「本当の幸せとは」をテーマとし、自分の幸せは自分の周囲の幸せ「利他」というプレゼンを行いました。龍谷大学の教授や、大学生、大学院生と学びを深めながらプレゼンを行い、見事最優秀賞に輝きました！！昨年も参加をしましたが、その反省と悔しさをバネに成長のあとを見せてくださいました。

（文責 不二見）



## 京都大学田地野教授 英語教育講演会

9月15日に京都大学の田地野彰教授による英語教育講演会を行いました。特進科、文理進学コース、中学生が参加し、「コミュニケーションに活かす英語の学び方—『意味順』学習法—」という演題で講演をしていただきました。生徒達は英語のおもしろさがわかった、もっと早く聞きたかった、と目を輝かせて感想を聞かせてくれました。田地野教授、貴重な講演ありがとうございました。

（文責 不二見）



## 第2回オープンスクール ありがとうございました!!

8月2日、19日に第2回オープンスクールを行いました。1,300名ほどの中学生の皆さん、そして保護者の皆様、各中学校の先生方にご参加をいただきました。全体会のあと、コースに分かれての龍谷高校体験。特にiPadを使った授業やeラーニング「すらら」の授業は大人気でした。部活動体験にも多くの生徒さんが参加してくださいました。スタンプラリーでは一生懸命チェックポイントを探し回る中学生の皆さんがとてもほほえましく感じられました。次回は11月12日(日)に模擬試験、部活動体験を計画しています。ぜひ！遊びに来てくださいね♪

たくさんのご参加、本当にありがとうございました。  
（文責 不二見）



## オランダ Jazz

現在、佐賀県が取り組んでいる文化交流の一環でオランダJazzの皆さんのが本校へ訪問され、吹奏楽部との交流やワークショップをしてくださいました。講堂ではすばらしい演奏を披露してくださいました。

それぞれの楽器がしっかりとその音を奏でつつ、絶妙に生み出されるハーモニーにみんな聴き入っていました。

（文責 不二見）



# 2017 龍高祭

ごうりゅう

## 「轟龍」



9月5日から3日間行われた



今年度の龍高祭のテーマは「轟龍」（ごうりゆう）。その名の通り、大空に轟き自由自在に飛び回る龍をイメージして、生徒一人一人が積極的かつ創造的に参加出来るようなイベントを目指しました。生徒会役員も日常の委員会活動と並行しつつ、「2017龍高祭実行委員会」として組織を再編成し、1学期の早い段階から入念な準備を進めてきました。

3日間構成の1日目は「オープニングイベント」を体育館にて開催しました。生徒会役員が工夫を凝らしたムービー、書道部・吹奏楽部といった文化部の熱の入ったステージパフォーマンスや吟詠詩舞の披露など、普段の生徒の活動をより身近に感じじることができました。団対抗のパフォーマンスも大いに盛り上がり、オープニングイベントの充実に一役買っていました。

残念ながら天候の関係で「片田江商店街パレード」は開催できませんでしたが、龍高祭モードに入るための節目となる「オープニングイベント」になりました。

2日目は「文化祭」。天候にも何とか恵まれ、今年度も3年生の飲食模擬店は正門前駐車場を拠点に、大規模な飲食ブース

を設置しました。2年生のアミューズメント・展示は、各クラス教室を普段とは異なる別世界にし、様々なアイデアで来場者を楽しませてくれました。1年生のバザーは、各自商品を持ち寄って笑顔にしてくれました。生徒会は龍高祭実行委員会として、特設ステージ・体育館ステージを中心に、様々なイベントを立ち上げ、生徒一人一人が文化祭を満喫できるような雰囲気作りを行い、今後も新しいチャレンジを続けていけたらと思います。

3日目は「体育祭」。天候の影響で1日順延となりましたが、その甲斐あって晴天に恵まれ、秋風も心地よい絶好の体育祭日和となりました。最初は各団応援リーダーによる「エール交換」に始まり、白熱した各種競技、午後の最初に行われた部活動対抗リレー、そして最後の「応援演舞」と見所が満載でした。年変わりの生徒会競技は「キャタピラレース」で、青・赤・白のラインが入ったキャタピラがグラウンドを駆け回っていました。振り返ればあつという間の2017龍高祭でしたが、生徒の思い出の1ページに刻まれたと思います。

（文責 平井）



# グローバルな人間を目指して

アメリカ研修



文理進学コース2年生の永田芽久さんが、佐賀県がグローバル人材育成の一環として行っている「アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアーワーク」に選ばれ、8月1日から2週間アメリカ研修に行つてきました。多くの事を学び感じ取つて帰つてきてくれました。



ちはなくなり、ずっと笑顔で過ごせました。ホストマガジン以外に娘さんたちが私たちに少しでも樂しい思い出を作つてもらあうところんなスポットに連れて行ってくれたり、好きなことをわせてくれたり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私がこの研修で一番感じたのは人の優しさです。アメリカで出会った人はみんなとてもいい人達でした。伝えたいことをうまく伝えられず、一生懸命話してたら、わかるまでずっと耳を傾けてくれたり、私の言っていることやつていることを嫌な顔一つせずに受け入れてくれたり、日本では当たり前だと思っていた気付けない優しさに気付かされました。私はそんな温かい木ストファミリーのおかげでこの研修を有意義に終えることができました。これからも、この研修で学んだことを忘れず、人に優しく接すること大切にしていきたいです。



## 陶山 尚樹 (ラグビーフットボール部) (③鳥栖西)

第13回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会（コベルコカップ2017）九州ブロック代表選手に見事選出されました。陶山君本人は、高校からラグビーフットボールを始め、日々の練習を頑張り、現在は龍谷ラグビーフットボール部のキャプテンとして活躍しています。

この夏、7月31日(月)～8月3日(木)長野県上田市菅平高原の方にて、SH(スクラムハーフ)やSO(スタンドオフ)のポジションで出場しました。今後の陶山君の活躍に大きく期待しています。

## 《陶山君がらひと言》

ラグビーは体をぶつけたり倒れたり痛いことが多いけれど、一人一人に大事な役割があり、試合に出ている全員が目立つことができます。これからも龍谷ラグビー部を応援してください！！

(文責 山崎)



今年から規模が拡大された赤松校区のお祭りに龍中生10名も参加しました。

一日がかりのお手伝いで大変でしたが、地域の方と和気あいあいと交流することができました。普段接することのない地域の子どもたちとも触れ合えました。生徒からは「接客の経験を今後の役に立てる」「地域の活性化に貢献できた」と力強い言葉もありました。運営する側の大変さを身をもって学べたようでした。



## 地域とつながった1日

～8月20日 鮎の門まつりボランティア～

## 楽しみました！ 日本にいながら英語三昧!!!

～8月2～4日 イングリッシュキャンプIN龍谷～

今年で開催2回目となるイングリッシュキャンプ。龍高生や他校の生徒参加の中、龍中からも9名参加しました。ネイティブの先生と3日間、英語オブリーの環境で苦戦しながらも楽しんで英語力に磨きをかけました。

### ～参加生徒感想～

ゲームを通して文法や単語を学ぶことができました。その後の授業でも英会話がスムーズにできるようになり、英語の楽しさを知ることができました。（2年 豊増 里穂さん）

普段はできない外国の方との交流ができました。ネイティブの先生の英語は楽しく、分かりやすかったです。プレゼンテーションもでき、とても嬉しかったです。（2年 北村 彩華さん）



聞いてびっくり。今年のパネルテーマは、赤団「百華繚乱」、白団「百花繚乱」でした。そしてダンステーマは、赤団「Enjoy」、白団「enjoy」でした。この息の合った2チーム、午前の部では点差わずか1点、『ダンス』では両団ともに相手チームを応援する形で参加。『龍谷のこと』存知ですか?の種目では、生徒の紹介文がアナウンスされ、それに該当する生徒を保護者が探し出します。ここでも一生懸命助け合い、教え合う生徒の姿が見受けられました。総合点数では、5点差という僅差で感動の涙を流しつつ幕を下ろしました。当日の朝、両団とともに「同点優勝を目指します」と言った言葉には、心打たれました。

～9月2日体育大会【不撓不屈 We can do it!】

「それでもチーム龍中!? 以心伝心



(中学校 文責・徳森)

## 龍谷中学校入試説明会のお知らせ

・第1回 平成29年11月5日(日) 10時～12時

(生徒発表・入試対策講座・入試説明)

・第2回 平成29年12月10日(日) 10時～12時

(生徒発表・入試対策講座・模擬面接・入試説明)

【場所】 龍谷中学校教室・図書館(振風館2階)



## 読書の秋～朝読で1日の心のリズム作り～

「みんなでやる好きな本でよい。ただ読むだけ」を合言葉に、朝の読書を行っているのは、「秋だから」ではありません。一年を通して龍中の朝は心地よい10分間の静けさが漂っています。また、週に一回、司書の先生による新刊の紹介・普段生徒が手に取ることのない分野の本の紹介・読み聞かせがあり、生徒からは「その日に紹介された本を借りた」「読み聞かせは中学生になつても引き込まれる」などの声も聞かれます。これからも気持ちのよい朝のスタートを切っていきます。

## 現代文化派？伝統文化派？どちらもあるかじり！！！～

～9月6～8日 3学年合同校外研修



初日は現代文化を学ぶべくいざUSJへ。思い思いの世界にどっぷりつかってきました。2日目は5時半に起床し、「おあさじ」(朝のおつとめ)に参加。西本願寺で国宝・重要文化財の能舞台や書院を目の当たりにして、宗門校生徒であること感謝し拝観しました。その後、事前学習をもとに自主研修に出かけ、縦割り班で京都の町を堪能しました。3日目は、清水寺や三十三間堂をまわり、生徒たちは恍惚として見入っていました。沢山のお土産を心に詰めて佐賀に帰ってきました。



## 輝いています!! 龍中生

第30回福岡日出磨旗争奪佐賀県女子剣道大会 団体 3位

男子団体

3位

男子個人

優秀賞

橋本

真奈

(③岩松)

井口

芽衣

(①下妻)

女子団体

準優勝

井上

夏稀

(②長門石)

九州大会・全国大会出場

第54回佐賀市中学校剣道競技大会 男子団体 3位

女子団体 3位

男子個人 3位

優秀賞 橋本

真奈 (③岩松)

井口 芽衣

(①下妻)

女子個人 優秀賞 橋本

真奈 (③岩松)

井口 芽衣

(①下妻)

男子団体 準優勝

井上 夏稀

(②長門石)

男子団体 準優勝

井上 夏稀

(②長門石)

女子団体 準優勝

井上 夏稀

(②長門石)

佐賀県中学校テニス競技大会 優秀賞 福田 舞 (②有田中部)

佳作 東 真緒 (①赤松)

秀作 豊増 里穂 (②旭)、豊増 志穂 (①旭)

第3位 (世界大会イタリア出場) 藤生 一華 (②赤松)

第4回イモラ国際ピアノオーディション Japan

アナウンス部門 最優秀賞 藤生 一華 (②赤松)

第3位 (世界大会イタリア出場) 藤生 一華 (②赤松)

第21回PARAピアノコンクールファイナル シニアA部門

アポロ奨励賞 (第4位相当) 藤生 一華 (②赤松)

優秀賞 福田 舞 (②有田中部)

佳作 東 真緒 (①赤松)

秀作 豊増 里穂 (②旭)、豊増 志穂 (①旭)

第20回人権意識高揚のための標語コンクール

西日本国際財団賞 鬼塚 菜穂 (③中川副)

銅賞 西村 有加 (①北川副



九州龍谷短期大学  
第58回 佐賀県吹奏楽大会  
大学B部門  
**銀賞受賞**

TEL 0942・85・1121  
鳥栖市

## 九州龍谷短期大学

# 学園だより

### 大人の音楽を楽しもう

九州龍谷短期大学吹奏楽部は、中学校・高等学校と違い、自分たちで部活動を行い、音楽をつくり、音楽を楽しみます。生涯、音楽・楽器を友としましょう。

また、吹奏楽大会等への参加のほかにも、キャンパスや鳥栖市内の商業施設でのコンサートなど、地域に密着した活動を行っています。



佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。  
詳しくは各学校事務室まで。

（文責  
熊谷）

### 認定こども園

### 九州龍谷短期大学付属

# 龍谷こども園



↑3歳児 「クリのお家は痛いね～」



←1歳児  
みんなで読み聞かせ



←5歳児 サッカー場で思いきり走ります「ゴールに向かって GO!」



2歳児 お外で元気に体操  
「いち、にの、さ~ん！」



←4歳児 9月から、絵本の貸し出しがスタート。  
真剣に絵本を選びます。「どれにしようかな」



0歳児 食欲の秋

大地にどっしりと根が張れるように・・・

乳幼児期に安心して過ごせる場と愛されることが実感できる「ふれあい」や「まなざし」「言葉かけ」が必要です。